

ユネスコ世界ジオパーク国内推薦および 日本ジオパークネットワークへの正会員としての加盟認定（日本ジオパーク認定）申請要領

I. ユネスコ世界ジオパーク国内推薦申請書

ユネスコ世界ジオパーク申請書要領¹に示されている、申請書と Annex 1, 4, 5 について、それらを日本語で作成し、紙媒体4部と電子ファイルとを、日本ジオパーク委員会事務局まで提出してください。電子ファイルは、オンラインストレージ等を利用して提出してください。

II. 日本ジオパークネットワークへの正会員としての加盟認定（日本ジオパーク認定）

日本ジオパークネットワークへの正会員としての加盟（日本ジオパーク認定）を希望する、日本ジオパークネットワーク準会員地域は、申請書と添付資料を一つのファイルにまとめた紙媒体のファイル4部と電子ファイルとを日本ジオパーク委員会事務局に提出して下さい。

申請書の本文は、おおむね以下の目次に従い、図、表、写真を含めて50ページ以内で作成してください。添付資料についてのページ数の制限はありませんが、まとめたファイルの厚さは、2cmを超えないようにしてください。電子ファイルは、オンラインストレージ等を利用して提出してください。

以下の目次に示した本文の構成や内容の一部は、「2016年度申請書要領」と変更になっていますのでご注意ください。この申請書の内容は、これまでの日本のジオパーク活動における議論を踏まえた上で、ユネスコ世界ジオパーク申請書要領¹やユネスコ世界ジオパークのガイドライン²を参考にして作成されています。内容の背景や求めている事柄などを理解するには、参考元の書類を参照してください。

なお、申請書には、文章の執筆者を明記して下さい。執筆者は、目次か本文中に示して下さい。

目次

1. 申請地域について

1-1 申請地域の名称

1-2 地理的位置

1-3 地理的概要

1-3-1 地勢、気候、生態系など

1-3-2 歴史、民俗的背景など

1-3-3 社会、経済、人口、交通など

1-4 組織、運営・事業計画、予算

組織図、メンバー、参加団体、主要な団体の役割、決定メカニズムなどできるだけ具体的に記述する。ジオパークの科学面をサポートする専門家の数とその専門分野と関与の程度、ジオツアーの拠点となる博物館やビジターセンターについても記述する。

ジオパーク認定後の長期計画、中期計画と、今後の施設整備と運営に必要な予算の計画を記述する。

2. 地質・地形遺産

2-1 申請地域の地質・地形の概要

申請地域の地質や地形といった地球科学的特徴が、広域のテクトニクスや地質構造のなかでどのような意味を持つのか記述する。既存の日

本のジオパークで、類似した地球科学的背景を持つ場所があれば、そことの比較についても記述する。

2-2 主要な「地質・地形サイト」の解説とその価値

申請地域の大地の特徴を示す場所は、主要な「地質・地形サイト」として、科学的な解説とその価値について記述する。それらについては、写真を添付する。全ての「地質・地形サイト」の解説とその価値については、添付資料 A に記述する。

2-3 主要な「地質・地形以外のサイト」の解説とその価値

主要な「地質・地形以外のサイト」について、科学的な解説とその価値について記述する。それらについては、写真を添付する。全ての「地質・地形以外のサイト」の解説とその価値については、添付資料 A に記述する。

2-4 各サイトの関連性と申請地域のテーマ

主要な「地質・地形サイト」と「地質・地形以外のサイト」同士が、どのような関連性を持つのか記述する。例えば、地球科学的なストーリーに沿って、各サイトの位置付けを説明するのは一つの方法である。また、ジオツアーのコースを設定し、それに沿って説明する方法もあろう。世界的に、あるいは国内的に科学的価値が高い地質・地形サイトや、教育に有用な地質・地形サイトについては必ず言及する。サイトの関連性を、端的に表現した申請地域全体のテーマがあれば、それを示す。そのテーマによって伝えたい事柄、背景を記述する。

3. 地質・地形遺産の保全

地質・地形サイトやその他の地質・地形遺産について、その保全の観点から見た現在の状態を記述する。地質・地形遺産の保全についての、活動主体の基本的な考え方、方針、実績、展望について記述する。

4. 教育活動、研究支援活動

申請地域内で行われているジオパーク活動に関連する教育活動や、研究者・専門家に対する調査・研究支援活動について、活動主体の基本的な考え方、方針、実績、展望を記述する。

5. 地域の持続可能な発展

5-1 地域経済活動

申請地域における経済活動の状況を踏まえた上での、ジオパークに関連した地場産業の振興、広報戦略、商品開発等について、活動主体の基本的な考え方、方針、実績、展望について記述する。ジオツーリズムに関しては、5-2 で述べる。

5-2 ジオツーリズムの可能性

申請地域におけるジオツーリズムの可能性について分析し、活動主体のジオツーリズムについての基本的な考え方、方針、展望について記述する。ジオツアーの実績の詳細は、添付資料 E に記入すること。

5-3 地域住民の活動

地域住民が主体となって、これまで取り組んできた地質・地形遺産の保全、環境教育、ジオツーリズム、防災等の活動についての実績と、それらのジオパーク活動との関わりについて記述する。

6. 日本ジオパークに立候補する背景と理由

添付資料

A. サイトリスト

「地質・地形サイト」、「地質・地形以外のサイト」の順で整理する。各サイトの科学的解説と価値の評価をし、現地解説板の有無、外国語対応の有無、ガイドマップやガイドブックでの解説の有無、法的保護の有無とある場合の法令の種類を記述する。

B. サイトの地図

サイトの位置、範囲を正確に地図に示す。提出する電子ファイルには、地図画像のほか、GIS データも含まれていると良い。

C. 「地質・地形サイト」の解説をしている現地解説板、パンフレット、ガイドマップ、ガイドブックの抜粋資料

表現や利用の仕方について工夫がみられる部分について提出し、どこが優れている点なのか説明する。現地解説板、パンフレット等の分量が多い場合には、全て提出する必要はない。

D. 申請地域におけるジオパークと関わりのある文献リスト

「地質・地形サイト」の科学的価値の裏付けとなる文献はすべてリストに示す。出版物や論文そのものを添付する必要はない。重要な文献については、ジオパークとの関係性についての簡単な説明があることが望ましい。(例:「地域の災害史について地元の地域史研究者が古文書を元にまとめた本で、ガイド講座の参考書に指定している。」「ジオパーク地域内の〇〇地形の形成過程について論じた論文である。」)

E. ジオツアーの実績一覧表

ジオツアーの実績があれば、日時、主催者、参加人数、内容等を一覧表にする。

F. その他

申請地域のこれまでの活動等を示す資料。

参照 URL

1: http://www.unesco.org/new/fileadmin/MULTIMEDIA/HQ/SC/pdf/IGGP_UGG_Statutes_Guidelines_EN.pdf

2: http://www.unesco.org/new/fileadmin/MULTIMEDIA/HQ/SC/images/Application_dossier_UGG_15Dec_2016.pdf

用語の定義

- ・活動主体：日本ジオパークネットワーク加盟申請にあたり、その準備を進めてきた団体や個人の集合体。
- ・サイト：ジオパークを構成する、特定の範囲を持った場所のこと。サイトは、地球科学的価値を持つ「地質・地形サイト」と、「地質・地形以外のサイト」とに分類される。「地質・地形以外のサイト」には、生物学的価値を持つ自然サイト（生態サイト）と文化的価値を持つ文化サイトとがある。
- ・地質・地形遺産：geological heritage の訳語。この geological は地質学的という意味であるが、英語の geology は、日本語の地質学よりも対象とする範囲は広く、「固体地球に関わる科学」という意味を含む。たとえば地球物理学、地球化学、地形学、土壌学（の一部）を含む。そうした意味を表すため、geological heritage は、「地質・地形遺産」としている。
- ・地質・地形サイト：ジオパークにおける、地球科学的価値を有する場所。ジオパークにある地質・地形遺産の中から地質・地形サイトが選ばれる。地質・地形サイトは、地球科学的価値のほか、教育的価値や、ジオツーリズムの対象としての価値も持つ。個々のサイトにおける各価値の程度は、そのサイトの性質や特徴により異なる。

提出先：

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-1 トライエム大手町ビル 7階

JGC 事務局（特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク）

tel. 03-3219-2990

e-mail: jgn_office@geopark.jp

締切：2017年4月17日(月)午後4時

*なお、国内のユネスコ世界ジオパーク審査業務は文部科学省の日本/ユネスコ パートナシップ事業委託により実施しています。